



24時間テレビから車の寄贈

皆様もご存じの、日本テレビ系の24時間テレビ「愛は地球を救う」24時間テレビ、チャリティー委員会から軽ワゴン車を寄贈いただきました。

当該委員会は、集まった寄付金から福祉関係では、子ども食堂への支援を

続けて来られていたが、このところコロナ禍で子ども食堂の運営が困難な状況が続いています。その

中でも生活困窮者支援活動で目覚ましい活動を行っているフードバンクに着目されました。

「フードバンクは企業から寄付された食材を一時的に預かって施設などへ振り分ける役割を担っており、チャリティー委員会でもここを支援するべきではないかと考えるようになりました。そして検討を重ねた結果、今年から一般社団法人全国食支援活動協力会と手を組み、フードバンク活動を推進する団体へ支援活動を行うことにしました。」とのお考えで、全国食支援活動協力会を通じ、当報徳支援センターにも支援をいただくことになりました。わたしたちの活動は



まだ2年強ですが、そのような私どもの生活困窮者救済の活動を認めていただいたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。

私どもは食品の運送に

便利な軽ワゴン車をお願いいたしました。このところ

の半導体不足から新車の生産・納入が遅れているとのことから、この7月に納車

されました。食品の輸送に

使います。また、輸送手段がない場合には貸し出しも致します。納車早々

早速、餃子の王将様からご提供のお弁当の引き取り、配達にも使いました。

今年の2月にヤマト運輸様からご寄贈いただいた冷凍軽トラックとともにフードバンク事業推進のために活用してまいります。

母子家庭への食品支援

またこの夏に厚生労働省の

令和4年度の「ひとり親家庭等の子どもの食生活等支援事業」がありました。今年3月に令和3

年度の同事業が行われ、好評であり、早速この夏休み期間に再度行われることになりました。

今回は、報徳食品支援センターは、ひとり親家庭支援団体や社会福祉協議会への支援にまわり、直接応募はしませんでした。8月14日に小田原

市母子寡婦福祉会の食品配布会に当該補助事業が使われました。



私たち報徳職支援センターの「もてる男たち」は食品の引き取り・運搬のお手伝いをしました。当然ですが、当センターの場所も提供しました。

また、この記録的に暑い中で用意した食品を引き取りに来るお母さん・子供たちのために当センターの森山さん、鈴木さんが冷たく美味しいジェラートと

ケーキを予め2百個も作りました。なお、鈴木氏は、元富士屋ホテル料理課長です。

フランス料理の日本一流の専門家たちが心を込めて作りました。

お母さんと子供たちは冷たいケーキとジェラートを食べてから、持てないくらいたくさん

の食料を持って帰りました。子ども向けにお菓子も用意しました。それだけでなく、私

たちの仲間の温かい思いのこもった手作りの冷たいデザートは夏休みのいい思い出になったでしょう。

私たち報徳食品支援センターは、ただ食品をお届けするのではなく、元気が出て、また頑張ろうという気になることができるような手作りのささやかな幸福の食べ物も提供していきたいと思っております。

報徳@なう9月号で私たちの企画をお知らせしたいと思っております。お楽しみに！

報徳@なう9月号で私たちの企画をお知らせしたいと思っております。お楽しみに！



餃子の王将様から夏休みのお弁当提供

餃子の王将様が既に学校の休みに合わせて、美味しい「お子様弁当」を地域の生活困難家庭の子供たちに提供していただくのは定例のようになっています。

餃子の王将様は、学校の休み期間等に限定で「ご家庭応援メニュー」お持ち帰り専用お子様弁当」を販売されています。子どもでも電子レンジで温めて食べることができます。これは働く親たちにとっても便利です。

このお子様弁当を、休みのたびにひとり親家庭の子どもたちに無償で提供していただいています。

毎日、仕事と家事、子育てに追われているシングルマザーの方々にとってなによりもありがたいことです。

改めて御礼申し上げます。そして今回も、八月末まで

(一社)全国食支援活動協力会との連携でこの

企画を実施していただき、私たち報徳食品支援

センターは小田原地域を中心にご活動に協力

させていただきました。

商売のお邪魔にならないように4時過ぎに小田原市内の餃子の王将様のお店にお弁当を受け



これらの写真の掲載は、ご家族・関係者のご了解をいただいています。

取りに伺いました。お店の女性店員の方と話ができ、「この企画を子どもたちが「餃子弁当の日」と言っていて、とても楽しみにしています。」と伝えると、「そんな声を聞くと嬉しくて、益々やる気が出ます。」と言ってくれました。店舗からの運び出しも手伝ってくれました。感謝の気持ちでいっぱいになりました。

子どもたちの喜ぶ姿を、ご覧ください。この表情がすべてを物語っています。ありがとうございます。



困った? 困った! 何が?
最近フードバンクへの食品の入荷が減っているようです。報徳食品支援センターへの今年四月から七月迄の入荷は23トで昨年と比べるとほぼ同じですが、これまでのような伸びではありません。過去二年半、コロナ禍で売り先を失った飲食店やホテル向けの食品の提供が大量にあつた時期が続きましたが、それがほとんど無くなっていることです。

この現象は私たちだけではありません。全国のフードバンク、子ども食堂等でも食品のご提供が減っており、困っているとの報道等が出てきています。

主要な原因は、今年春以降相次いでいる物価の上昇です。世界的な燃料・食料資源の価格高騰と円安のためにほとんどの食品が値上がりしています。食品メーカーは、値上げをすると売上げが落ちるので、生産を絞ります。また、経費

支出も絞ります。

といった背景で、フードバンクに提供される量も減っているのです。困ったことです。

でも一番困っているのは、年金暮らしの高齢者やシングルマザー達です。物価が上がっても、年金額や給与がすぐには上がるわけではありません。弱い人たちがさらに弱く、悲惨になります。すでにそうなっています。そしてこれらの人たちは声を上げることも、ストライキもできません。

皆様をお願いします。

弱い人たちに今まで以上に手を差し伸べてください。あなたたちのところにある食品を提供してください。企業の方達も、できる範囲で少しでも多くご提供してください。政府・行政も是非ともご配慮願います。

私たちフードバンクも、新しい提供先を開拓して量を確保するよう努力していきます。

直接食品支援を望まれる方たち

先月の記事の中に、当センターからの食料提供希望申し込みの記事を出しました。

しかしながら、「このご要望の受け入れは、期限を切っていませんので、周辺にご紹介いただける方がいられるようでしたら、ご紹介もお願いいたします。

まだまだ暑いです。

コロナも収まってはいません。

ご健康にお気をつけてください。

